

畑で判断するマメシクイガの防除適期

～成虫の発生はフェロモントラップで確認！～

1 マメシクイガとは？

幼虫が大豆の子実を食害する蛾で、本種による減収や被害が近年、増加傾向にあります。



2 成虫の発生時期は？

成虫の発生時期には地域により異なるため、各地域で防除適期は異なります。

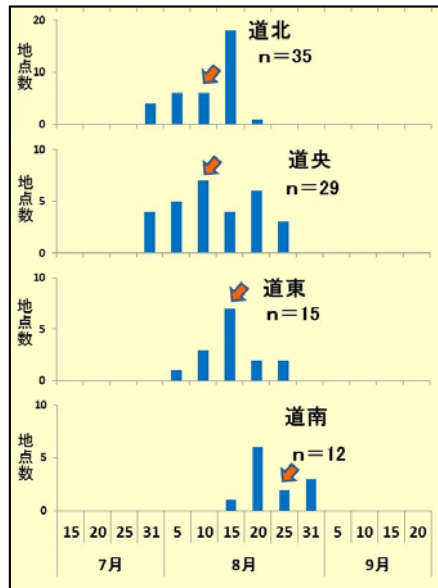


図 フェロモントラップ調査による成虫誘殺最盛期の分布(平成23年)
注) 矢印は、成虫誘殺最盛期の各地方平均

3 散布適期と効果的な散布体系は？

産卵初発期から殺虫剤を2回使用すると高い防除効果が得られます。散布開始適期は、莢伸長始とフェロモントラップによる成虫誘殺の有無から簡便に把握できます。

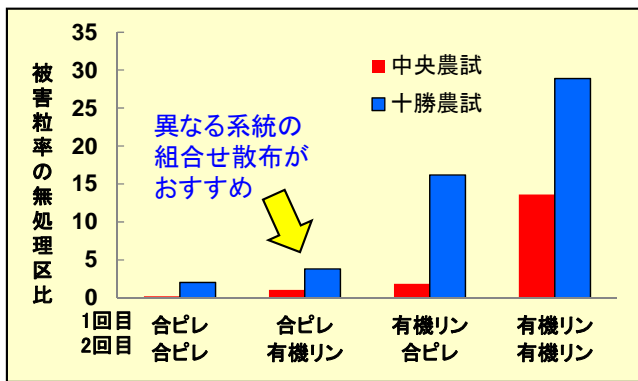


図 薬剤の系統と防除効果 (平成21年)

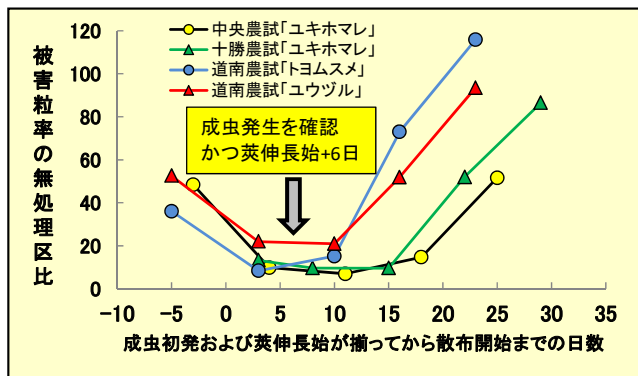
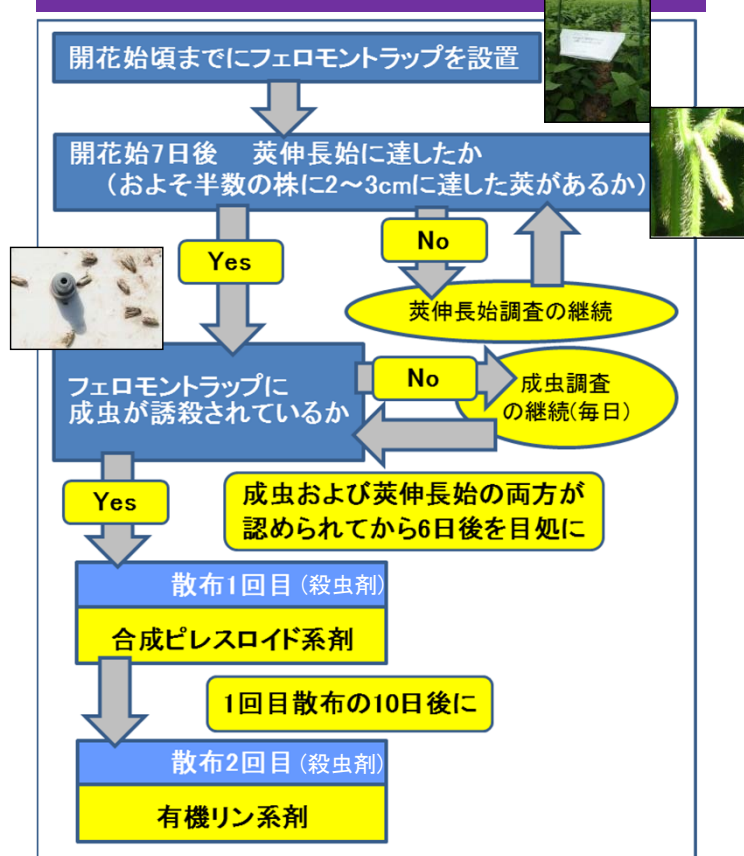


図 成虫初発と莢伸長始が揃ってから散布開始適期までの日数と防除効果(平成22年)

4 防除適期の判断手順は？



性フェロモン：雌成虫が雄成虫を誘引するための物質です。これを合成し、粘着板上に設置すると雄が捕獲されるので、成虫の発生時期を知ることができます。23年から市販されています。